

「PTHrP 産生腫瘍により高 Ca 血症を来した一例」

与論徳州会病院 臨床研修医 2 年目 古井 宏一

症例：79 歳、男性。

2011 年 5 月に喀血が出現。検査の結果肺扁平上皮癌 stage IIIb と診断された patient。

肺癌精査、腰椎圧迫骨折に対するリハビリ目的の入院中に、発熱・意識障害が出現。検査の結果、PTHrP 産生腫瘍による高 Ca 血症と診断、治療を行った。

悪性腫瘍随伴高 Ca 血症は全悪性腫瘍患者の 10%程度に出現するといわれている。高度な症例では致死的であり、症状出現時には適切な対応が求められる。

また、本症例は尿中 NTx 高値であり、経過からも骨転移の存在が強く疑われる。PET や骨シンチのない離島において、骨転移の指標としての骨代謝マーカーは有用であると考えられる。